

次回札幌国際芸術祭の方向性について

1 次回札幌国際芸術祭検討方針

SIAF2020 方針・実現しようとしていたことをベースに検討

市民への浸透

・SIAF2023 で目指すべき最重要成果を
「SIAF がより多くの市民に浸透していくこと」に設定

SIAF2020 の重要な要素のアップデート

・検証結果（ヒアリング）によるアップデート
・SIAF2020 特別編での実績等

新型コロナの影響

・[前提の変化] 文化芸術が果たす役割の変化
・[直接的な影響] 渡航制限、新しい生活様式等

2 （検討方針を受けて）次回札幌国際芸術祭の目指すところ

- 芸術祭を通してコロナ禍の先にある変化に富んだ時代をしなやかに生きるためのヒントを提示する
- 札幌市民の強い関心を引きよせる展示・企画や多彩な取り組みで、一人でも多くの市民へ芸術に触れる機会を提供する

3 次回札幌国際芸術祭の実施方針

「今だからこそ見て欲しいアート作品の展示」と「芸術祭を通じたコミュニケーション」によって生まれる新たな価値観で
いつもの冬を発見と驚きに満ちたものに

4 実施に向けた4つの視点

- (1) 今の時代に呼応した国際的な現代アート・メディアアート作品の展示と、作品を多様な角度から丁寧にわかりやすく伝えるさまざまな企画で創造性を育む深い鑑賞体験をもたらす
- (2) 地元人材・企業等を生かしたチーム体制により、札幌の資源や強みを生かした札幌ならではの芸術祭を作るとともに、地元に残す
- (3) 日常生活の延長で作品に出合う機会や市民参加の枠組みなど、芸術祭への多様な入り口を用意し市民と文化芸術をより近づける
- (4) イノベーティブな鑑賞方法を併せて検討し、場所や状況、年齢や障がいの有無等にとらわれない幅広い参加と非日常的な体験を可能にする

次回札幌国際芸術祭開催方針（案）

SIAF2020 で実現しようとしていたことを基本にアップデート 冬季開催で札幌の魅力や特徴を生かした芸術祭を展開

1 会期

冬季開催（2023年度）※2024年冬

※降雪等の札幌の特徴がより強く発揮できる会期設定を検討（2024年1月中旬～2月中旬・30日程度を想定）

2 会場

- (1) まちなかと郊外会場を設定（SIAF2020では、まちなか：市民交流プラザ・道立近美・市資料館・500m、郊外：芸術の森、モエレ沼など）
- (2) 冬の札幌の魅力を生かした会場設定（SIAF2020では、雪まつり会場、都心北融雪槽、モエレ沼公園雪倉庫など）

3 プログラムの方向性

寒冷な気候や雪、北方圏の文化を題材とした作品やプロジェクトを紹介

- 札幌の特性を活かした展示・プログラム
- 札幌・北海道の歴史、文化、風土を感じることができるストーリーのある作品・プロジェクト

現代アートに親しみやすい作品・題材・プログラムの提供

- 象徴的でインパクトのある作品展示
- 体験型プログラム
- 現代アートを学ぶプログラム
- 市民に身近な題材

満足度や質を向上させる取り組みでアップデート

祝祭感の演出

メディアアーツ都市の枠組みでイベント等と連携し、札幌市全体での祝祭感を演出

芸術祭との出会い

雪まつり会場や“まちなか”などに象徴的な作品を設置し、作品に出会う機会を創出

市民に響く展示

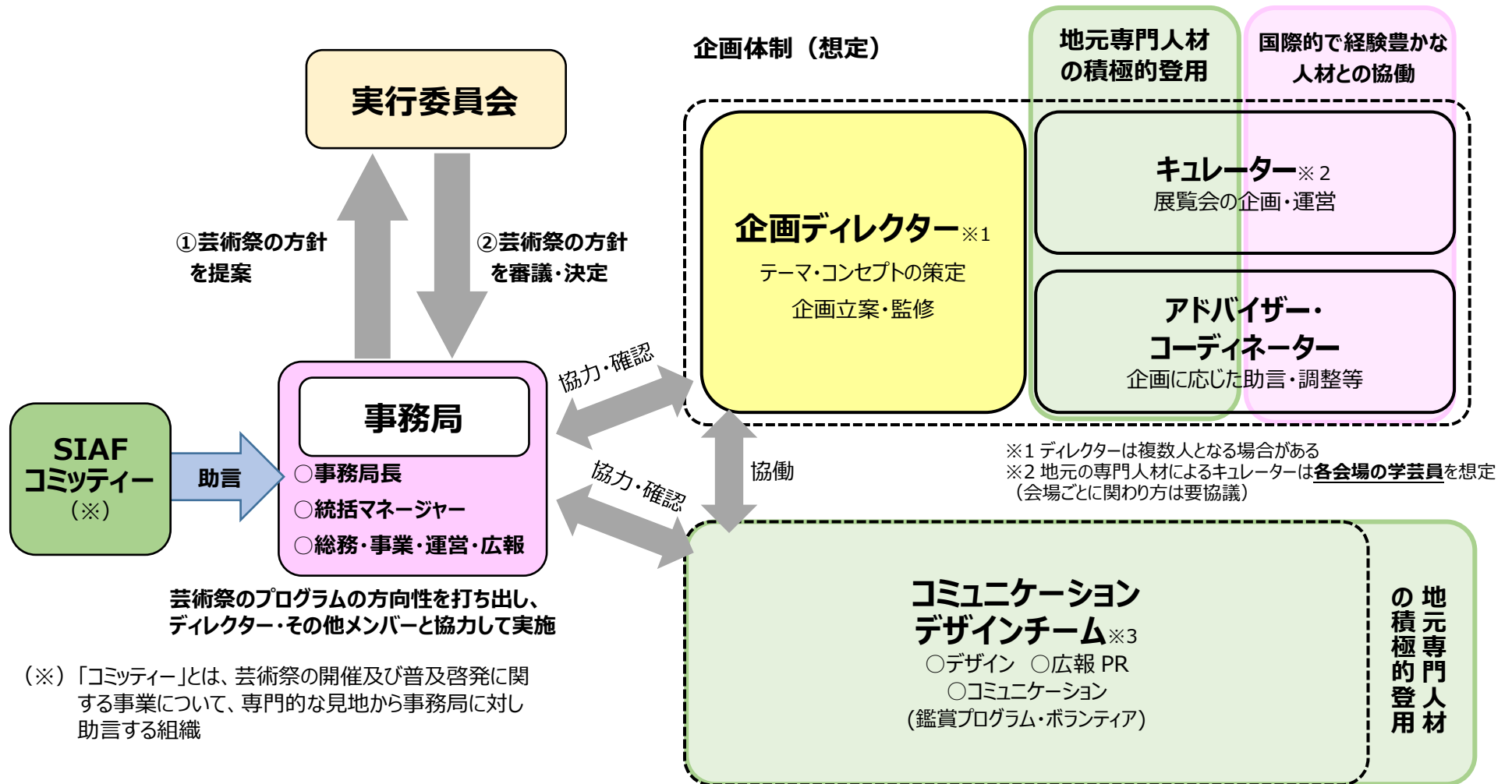
市民目線と国際性を取り入れた企画体制で、市民に届く作品・企画を実現

先進性を伴った国際発信

先進的な取り組みと共に、冬の札幌の魅力をオンライン等で世界に向けて発信

札幌国際芸術祭 2024（仮称）の体制について

企画体制に地元の専門人材を積極的に登用 札幌ならではの芸術祭/地元に残せる体制に



(※) 「コミッティー」とは、芸術祭の開催及び普及啓発に関する事業について、専門的な見地から事務局に対し助言する組織

札幌国際芸術祭 2024（仮称）のディレクターの選考基準について

1 ディレクターの候補者選定

札幌国際芸術祭芸術監督規程

第3条（候補者選定） 芸術監督は、委員会事務局が札幌国際芸術祭コミッティーと協議の上、候補者を選定し、委員会に諮る

2 ディレクターの役割

札幌国際芸術祭芸術監督規程

第2条（役割） 芸術監督は、委員会が定めた SIAF の方針に基づき、SIAF の企画立案及び監修を担う

2 前項の実施にあたっては、委員会事務局と協力及び確認を行いながら進めるものとする。

3 SIAF2024（仮称）ディレクター選考基準

- (1) 企画体制のメンバー・コミュニケーションデザインチーム及び事務局と共に現代アート・メディアアートの企画が実現できること
- (2) 札幌市がユネスコ創造都市ネットワークに「メディアアーツ都市」分野で加盟していること及び札幌国際芸術祭基本構想を踏まえ、SIAF2024（仮称）の目指すところを実現する芸術祭のテーマ・コンセプトを設定できること
- (3) 地元の専門人材（地域学芸員、コミュニケーションデザインチーム等）を含んだ体制で、互いを尊重し協働して企画立案等を進めることが可能であること
- (4) SIAF2024 の代弁者として芸術祭を発信することが可能であること（スポークスパーソン）
- (5) 札幌・北海道の歴史、文化、風土に詳しく、冬の札幌の特色を活かした展覧会の企画監修が可能であることが望ましい

4 SIAF2024（仮称）ディレクター選考スケジュール（予定）

2021年 7月	2021年度 第1回実行委員会（選考方法について審議・決定）
8月～10月	ディレクター候補者選定
11月	2021年度 第2回実行委員会（ディレクター候補者について審議・決定）
2022年 1月	ディレクター発表（プレスリリース）

